

～大久保地区公共施設再生～ 集約対象施設跡の 利活用を考えるワークショップ

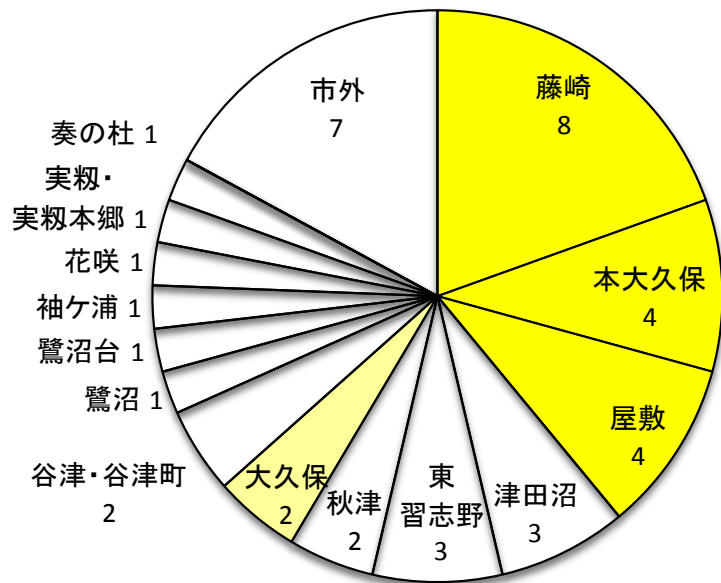
「話合いの成果発表会」

来場者アンケート結果
平成28年1月23日開催

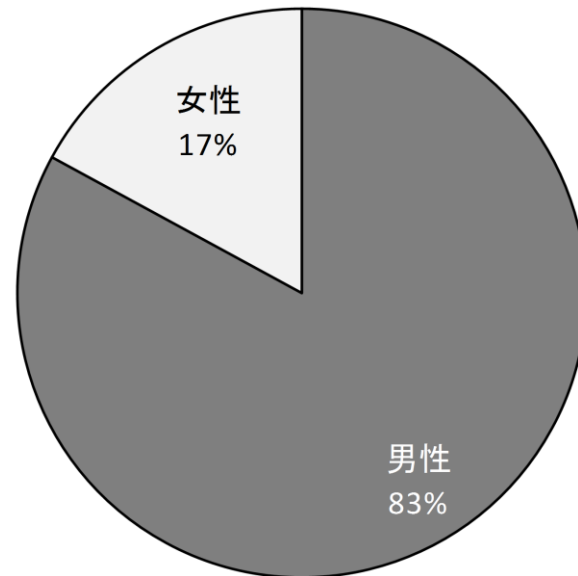
参加人数

- 来場者人数(ワークショップ発表者を除く) 52名
- アンケート回収人数 41名

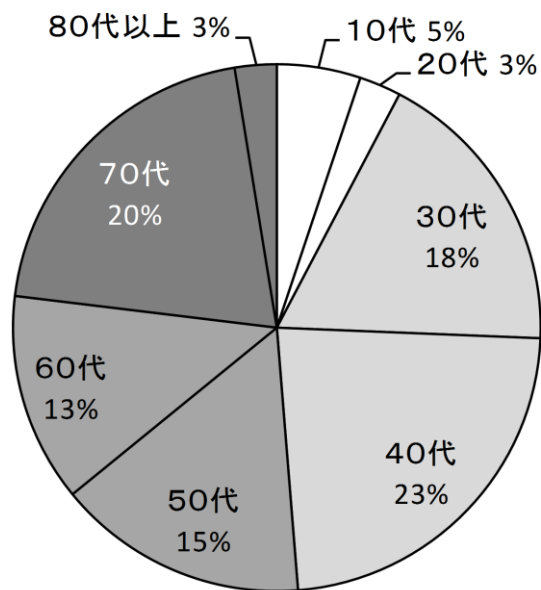
(1)お住まいは



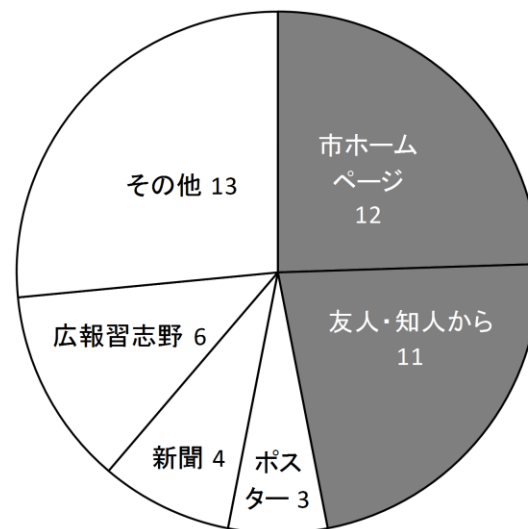
(2)性別は



(3)年齢は

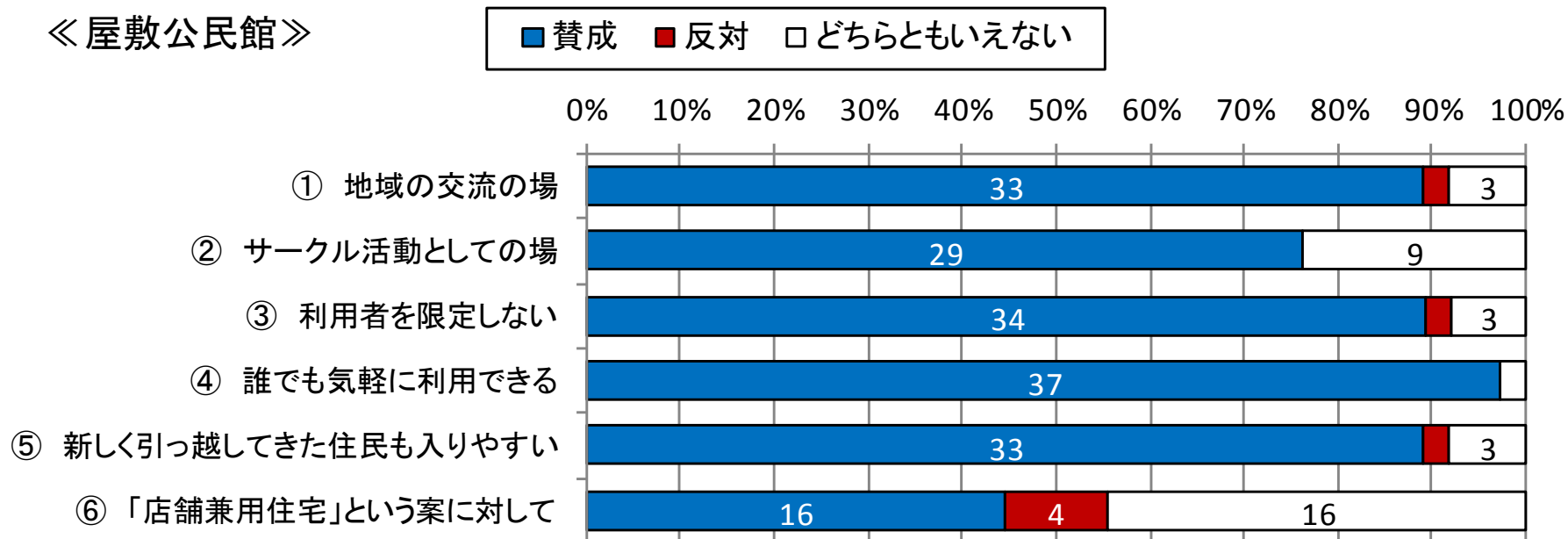


(4)「話し合いの成果発表会」を何で知りましたか？



(5)本日の発表内容について

《屋敷公民館》



《屋敷公民館自由記入欄》

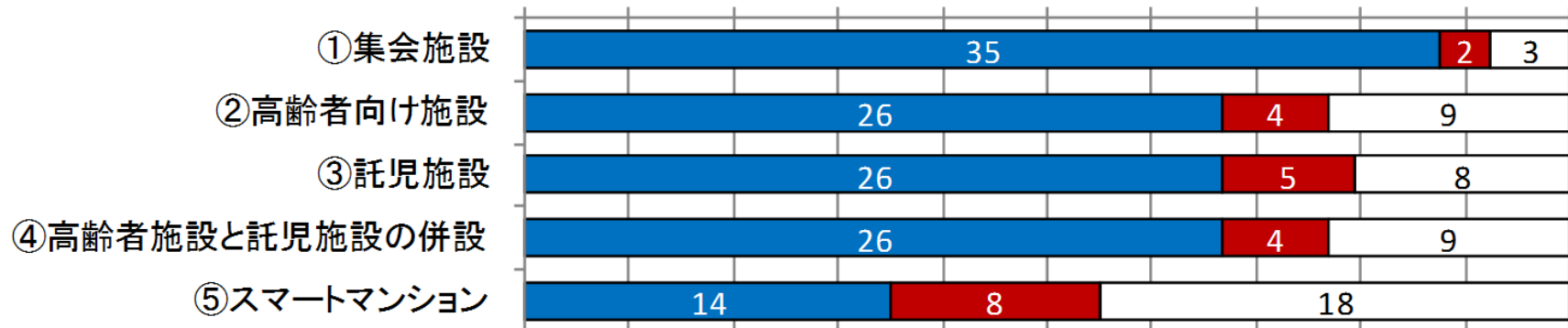
- 誰のものかというところで開放する一方で使用用途制限もあるところKOILや麻布農園のようにあるいみ特化したもので、収益性を考えていく。新しいYASIKIのポジショニングをとることで、実現が可能だと思いました。(30代・男)
- どういう住民を集めるか？(2階)最初の改修費はどうか？が気になりましたが、ぜひ実現してほしい(30代・女)
- カフェ・フリースペース+シェアハウスの案は面白い。土地と建物は売却。(40代・男)

- ①用途地区の明確化。②具体的建築物の規模・面積・容積・高さ③改修するのか新築するのか④売却し（限定用途）貸付⑤まだまだ曖昧なワークショップ。あまりに少ない時間。⑥この施設でまずワークショップをやることではないか。現場にいかんきゃー
(50代・男)
- 稼げるんじゃないの意外に
(50代・男)
- 現実的に利用できる用途が限りがあることから、地元住民の協力をした中で何が出来るか考えていく必要がある。地域にはまとまりがあると思う。(50代・男)
- 使用可能な平米数の記載がない。賃貸住宅は建基法・消防法の基準がきびしいのでは？現実的とは思えない。中途半端な案ならば売却でもいいと思う。(50代・女)
- 民間業者が事業になるような規制緩和や補助金、土地政策が行政に求められる。
(60代・男)
- 学生の活動が前提になっているのが気にかかる。下宿屋になるならば稼ぎが不足するのでは
(70代・男)
- 規模が課題
(70代・男)

《ゆうゆう館》

■ 賛成 ■ 反対 □ どちらともいえない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



《ゆうゆう館自由記入欄》

- スマートマンションの概念はとてもいいと思います。一方でマンションというと閉鎖感がでてしまうのでどのように折り合いをつけるか課題かなと感じました。
(30代・男)
- うまく民間にはいってもらって運営できたらいいと思います。スマートマンション→セキュリティ的にむずかしい。
(30代・女)
- 保育施設としては、すぐ近くにこども園があるので、そちらに託すことを考えても良いのでは？高層マンションは付近の住宅と調和しないと思います。向かいのURの団地を近代化した方が良いでしょう。
(40代・男)
- 定借マンションor分譲マンションで財源確保。その他施設は民間提案による。
(40代・男)
- 取り壊しが前提との発表があった？市内南側に公民館機能を併せ持つ場所がない。建替えてもいいから、民活（PPP・PFI）で残すべき。デイサービスは、2Fに高齢者が上がれないので、1・2F逆にすべき。
(50代・女)

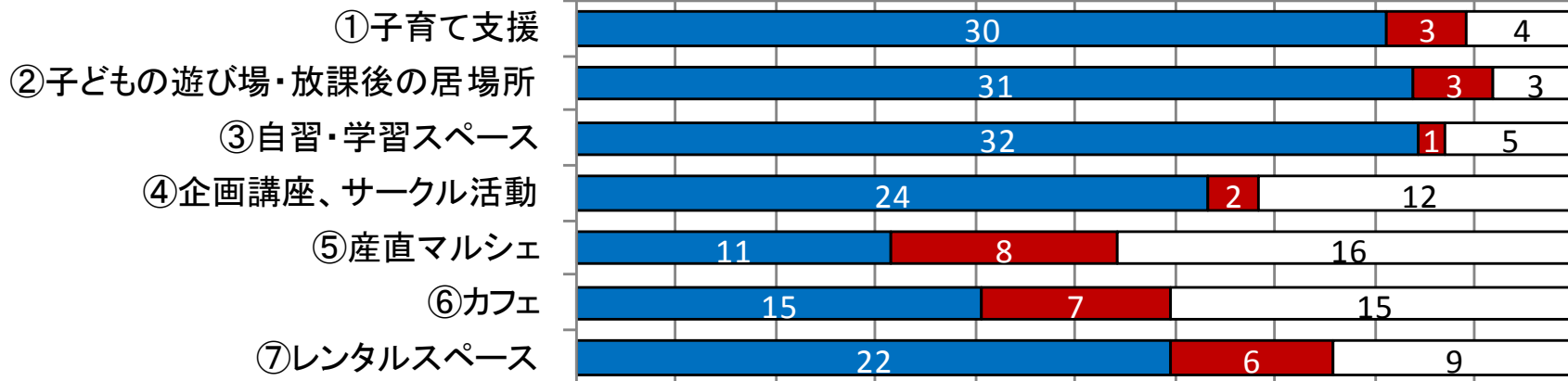
- できないといったら、いつまで経ってもできません。 (50代・男)
- 財政に寄与するものを第一に考えるべき。子育て施設としては、既に杉の子こども園がある。また、この施設を地域のコミュニティを担う場所として利用することも必要。高齢者施設は必要だと思うが、利活用（財政に寄与しない。）にならない。 (50代・男)
- ①用途地区の明確化。②具体的建築物の規模・面積・容積・高さ③改修するのか新築するのか④売却し（限定用途）貸付運営現況の検証はされたが、特に企画内容、利用者の声は、集約されたか。⑤まだまだ曖昧なワークショップ。あまりに少ない時間。⑥この施設でまずワークショップをやることではないが現場にいかなきゃー他の例を上げているが、土地周辺状況条件が違い、全くといっていいほど比較にならない。どの施設でも同じだが、そこまで行く交通状況がほとんど話されていない。利用とは、それも含めてやるのがワークショップのあり方です。具体的専門的なことも含めやるべき (60代・男)
- 実現可能性は低いと思います。企業に一部公共施設とする条件を付けるべきだ。 (60代・男)
- 全体計画がバラバラで、運営面の配慮が少ない。継続可能な使い方、集会室機能などに重点を置いた計画が欲しい。 (70代・男)
- 住宅として活用→マンションで1Fは色々な施設とする。 (70代・男)
- ①しばらくは、土地使用貸借②ボランティアに基づく補助金③シェアハウス・スマートマンションを増加させる地区計画 (70代・男)
- 施設の実現性を考えて結論をまとめるべきであった。参加者の一人として反省している。 (70代・男)

(5)本日の発表内容について

≪ 藤崎図書館 ≫

■ 賛成 ■ 反対 □ どちらともいえない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



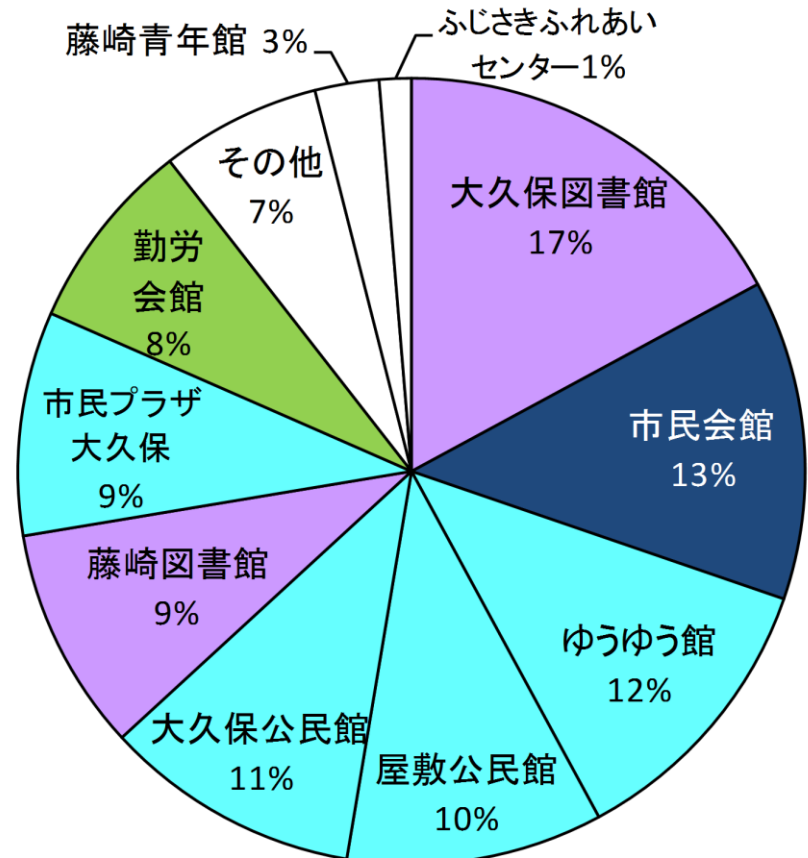
≪藤崎図書館自由記入欄≫

- 3F利用で祖父母と子育て世代が一つに集うコンセプトはとてもニーズのあることだと思います。収益性の課題をどうつけるかで利用者は出てくると思います。
(30代・男)
- 今、あまり一日の利用者が少ないけど、これらの場ができれば増えるとおもいます。又、運営・大学・ボランティアとしているところが新しいと思います。そのモチベーション維持は課題ですがよいと思います。
(30代・女)
- 大学生のボランティアとしての運営参画は財政面でも有効だと思う。
→ボランティアのメリットを豊かにした方が良い。
(30代・男)
- 消防施設が併設されていることを考えるとカフェ・コミュニティスペースは論外と言わざるをえません。現状の図書館以外ないでしょう。
(40代・男) ⁷

- 子育て・カフェ・レンタルスペースを中心に民間企業に管理・運営を任せる。建物は、賃貸で市は収入を得る。 (40代・男)
- このスペースであれもこれもできません。図書館の集約してしまうことは物理的距離はたいへんなこと。 (50代・男)
- 青年館廃止とのからみがない。3・4Fの為、マルシェ的な開放・おまつりには向かない。駐車場の無駄なスペースを貸駐車場として、立体で貸せばいいのではないか。(ターンテーブル式)。体操ができるようにしてほしい。消防と合同庁舎なら、財政支援はどうなるのかが、はっきりしていない。経費と管理費の関係が？ (50代・女)
- なんで図書館がなくなるの？本は有料で貸出しすれば、大人だけでも。 (50代・男)
- 避難上、安全上のことを考えると、営利業務が入ることは無理だと考えられる。この地域は子ども関係の施設が少ないため、この種の利用が好ましい。市民が自主的に施設を管理するのが課題となる。この部分は市の負担が出てしまう。光熱費等の経費の負担も課題。 (50代・男)
- そもそも、3F・4Fだけという限られたSPACEで、あまり色々な機能を盛り込もうとすると、全てが中途半端で目的が達成できないと思う。図書館・交流SPACEを中心とする方が良いと思う。 (50代・女)
- すぐにでも、実現可能。床は無償貸与。内装・リフォームは市の予算。NPOでやってほしい。当初は補助金。 (60代・男)
- 実現してほしい。 (60代・男)

- 地域住民、特に子供・シニアのために図書館機能、文化的機能を残すことは、きわめて重要。お金がある、無いは、お金の使い方の問題。行政の責任である。
(60代・男)
- 図書館機能しか動いていない。建物全体をもっと積極的に使う必要がある。
(70代・男)

(6)よく利用する施設は



(7)ご意見・質問

《30代》

- レジюмеに目次を設ければ見やすくなる。 (30代・男)
- 今回のテーマに至った経緯(各施設の設立から廃止決定までを時系列に並べた年表等)を載せると発表会そのものの目的が理解しやすい。 (30代・男)
- 3施設をバラバラに考えるのではなく、統合して考えた目線から各施設を活かしていくべきである。(1つはシニア、1つは子供など) (それぞれをバスで繋ぐ等) (30代・男)
- 行政からの財政支援ができないのであれば、行政は、規制緩和(法規制など)などのソフト面での整備をしてもらいたい。民間が少しでも魅力を感じる下地づくりを進めてもらいたい。建替える場合は、地区計画などを活用して、用途制限のしぼりの問題を解決できないか。 (30代・男)
- とても有意義な内容でした。参加者の女性の感想の言葉、素晴らしかったです。 (30代・女)
- 地域に住む人が考える場合は、とても大事です。このようなとり組みは大切。 (30代・女)

- 今回の発表を聞いて各施設がとても魅力のあるものになったら、（どこも遠く、わざわざ行く程、魅力的ではないのいで行かない。）遠くても（都内などへ移動するよりは近い）行きたいと思います。「ゆうゆう館」の感想で、市の財政支援ナシ→集会所などの望むキノウを民が残してくれる訳ない。と言っている方がいましたが。→不可能！じゃあ不可能→再生反対なのではないでしょうか？そこで思考停止して、ただ反対していても将来へツケが回るだけで何も解決しない。そのような考えの人には不可能の先を聞いたかったです。

参加者の女性が感想として言われていたように、本当に必要であるならば今回考えたように機能を実現するために利用者は何ができるか？を真剣に考えるべきです。（べきだと思いました。）

市は存続“不可”から、じゃあ住民が運営利用できるための道を示してくれました。それをただ突き返すのは、何も生まれません。本来機能 集約→廃止 だけでもよかったです。そして利用者が自発的に利活用を検討する道もあったはずですが。それを市が、プロのファシリテーター、各大学を巻き込んで、利用者がより効果的に検討できる場をつくってくれたこと。このチャンスを生かして、全国に先がけて民が運営する魅力的な施設が生まれていけばよいなど。 （30代・女）

《40代》

- 習志野市長や担当者の「実績」宣伝、「実績」づくりの場を超えられなかったと思います。「民の力」などの前提を最初に決め、ワークショップ参加者を縛ったため、財政の機能、税財源（累進課税）のあり方などの根本問題を議論することを封殺しています。 (40代・男)
- 主催者や統括ファシリテーターによる縛りやルールによって、「民の力」=民間資本の導入、「稼ぐ」=市場原理の導入、それが嫌なら、売却という展開を、ワークショップ参加者は、強いられることとなります。それなのに、あたかも自由な議論がなされたかのように演出するのは卑怯です。参加者どうしが対立せざるを得ない場面が生じた原因に触れることがないのは最低です。 (40代・男)
- 何でもかんでも反対と言う人の意見を聞いてはいけない。 (40代・男)
- ワークショップの進め方にもよるかとは思いますが、3回で終わらせてしまうのは議論が深まらなかったのではなかったでしょうか？
まとめはよかったと思うが、民間事業として、進めていくのであれば、財政に関する内容はもっとアイデアを出し合った方がよかったのではないだろうかと感じました。若者達が夢を語るのは構いませんが、やはり実現可能性の高いギロンになるように市側はもっと検討材料を準備すべきだったと思います。 (40代・女)
- 市の財政支援を借りずにどのように費用を捻出するかが、確かに大きな問題だが、アイデアとしてはとてもよいと思い、実現ができるなら協力できればとも思います。 (40代・男)
- 全施設とも、集会機能を求める提案が多いが、民間経営となれば、使用料は数倍増加する。この負担は、利用者が負うものとなる。この負担を市民が負ってまで、集会機能を利用するのか？ほしい機能を維持していくためには、利用者が費用負担をしなければならないということを理解していただく必要があると思う。 (40代・男)

- 今回は、「集約対象施設跡の利活用を考える」ことが目的であるが、どの施設も、現機能は「必要」という意見であった。→そうすると、わざわざ大久保にお金をかけるのではなく、キボを小さくしても現施設の「長寿命化」でもよかったのではとも思われる。 (40代・男)
- 事業費等も含めた具体的な提案が聞けると思っていたので、少し残念でした。 (40代・男)
- 施設ごとに質疑ができればよかったです。 (40代・男)

《50代》

- 質問時間をとらないなら、別な場所でしっかりとした対応があったほうがいい。
(50代・女)
- 始まってから挨拶のほうが長々つづいて、成果の発表がなかなか開始されなかった。
(50代・女)
- 日本人のぶつかり合う、うんぬんの話は、かつあいしてほしかった。(50代・女)
- 人口減・財政負担を何度も聞いているが、16万人が、～10万・8万人になるわけなのは資料で明らかなのに、何故「人口減・人口減」さげぶのか、バランスの変化は、認める(年令比)ことはできる。また、市としては、子育て人口増をもとめているのに、矛盾している。(実はわかっているはず)負担もそうです。市行政の負担が個々人への負担に移動するだけなのです。(むしろ公共財がなくなることを利用してあきらめざるを得ない)。施設を大久保に集中することは、大久保ではパンクです。(集約できる容積機能はもっていない。物理的に不可能)特に大久保駅周辺は混雑状況はげしく危険度を高めることは、行政はどのような考え方なのか。集約することによる、それに変わる交通手段はなにも対応はされていない。まちづくりの視点が全くとっていない。残念ながらこのワークショップは、ワークショップではありませんネ。あいもかわらず、行政おまかせ、本来地域の人たちだけでワークショップまちづくりをすること。とにかく、これだけのことを3回程度のワークショップでやるのは無理、さらに継続すべき!アバウトすぎ、もっと詳しく
(50代・男)
- 収益が大きく望めるところは大きな活動ができるし、収益が望めないところは、ボランティアや地域の支援に頼るしかないよね
(50代・男)
- 参加者は、「大久保地区公共施設再生計画」について、基礎的情報を得ているはずなので、市の説明は不要だったと思う。限られた時間の中で、質の高い会を実現するためには、「発表」と「質問・意見」に多くの時間を取るべきだと思う。
(50代・女) 14

《60代》

- 民だけという発想はおかしい。税金を強制的に取っている以上、市民要望にお金を投資しないという選択はない。 (60代・男)
- ワークショップは意義はありましたけれど、今後の施策に活かしてもらいたい。 (60代・男)
- 大変良い発表だった。よくここまでこぎつけた。事業化をする過程は、行政の力。地元の不動産会社、建設会社と実行手段を協議すべし。菊田も早めに対処した方がいい。コミュニティービジネス専門家の意見も聞きたい。 (60代・男)
- 公共施設と用途地域のあり方は見直しが必要。やしき公民館に、カフェなど小規模なものを認めても良いのではないか。人口減少と共に高齢化が進むため、身近にカフェなどがあることは良いことと思う。 (60代・男)

《70代・80代》

- 今日の発表内容は、WSの最終結論ではなく、WSの検討テーマに対して、半分しか検討していない議論のまとめです。WSの検討テーマは、「行政の財政支援なし」に「民の力が担う機能」を考える。というものでした。今回の報告はこのテーマの後半の「民の力なし」という前提条件に対しては議論していなかったのです。これは、発表者の責任ではなく、参加者全員の責任です。提案した施設を「財政支援なし」という条件で実現できるかを検討する必要があったのです。提案した施設の実現性を評価すると「ニーズの高い施設の実現が難しい。」というのが結論になります。このような、「実現できない機能や施設を検討したWSは本当に意味があったのか」また「WSの検討テーマが適切であったのか」ということが疑問になります。学生諸君にはWSは勉強になったと思いますが、再生計画を推進する市民にとっては「全く無意味なWSであった」といわざるを得ません。そこで、行政は今後このWSの結果を市議会や市民に説明することが、多々あると思いますが、その際は「今回のWSでは『我々が必要とする施設は実現が難しい』というのが結論である。」ことと、「WSは無意味であった」ことを合わせて、伝えてほしいということをおねがいしておきます。このWSの問題は再生計画の進め方に元凶がある。（70代・男）
- いろいろな事業をするにあたっては採算性の検討を是非お願いします。当初費用だけでなくその後の採算性が重要と考えます。（70代・男）
- 利活用については、他分野にわたり結構だと思いますが、現施設での利活用は、無理だと思います。建物の耐用年数から判断すれば、内容の絞り込みが必要と考えます。（70代・男）
- 自らの問題として多くの人に関心を持ち、後の批判ではなく、少しでも意見参加をしたいと考えました。（70代・女）

- 出た意見を尊重しながら、専門的な検討を深め、市民・一般人の希望を出来るだけ多く取り入れてほしい。
(70代・男)
- 全般によくまとまっていた。今後も同様の活動を期待する。
最初の話はわかりやすくとても良かった。資料がないのが残念だった。
(印刷で追加したら…と思った。) 予算については、最後のまとめのときに、コメンテーターが一言いえばよい。
(80代・男)

※注意事項

- 原文をそのまま記載しています。
- 個人名及び個人を特定できる文章、誹謗中傷に係る部分は削除しています。